

授業科目

疾患の成り立ちと回復の過程II

担当教員名 鈴木 力	対象学年	1	対象学科	救急
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	

授業の概要

救急救命士には、多種多様な傷病に対応することが求められ、単に病態を推測するだけでなく、生命兆候から緊急度および重症度を把握し、適切な医療機関を選定しなくてはならない。このためには、さまざまな疾患／疾病の成り立ちとその回復の過程を理解することが重要となる。

本科目では、腫瘍、先天異常、損傷の成り立ちと回復の過程および死について学習する。また、薬物（医薬品）や検査の基礎的事項についても学習する。

授業の目的

1. 腫瘍、先天異常、損傷について、それらの成り立ちと回復の過程について理解する。
2. ヒトの死について理解する。
3. 薬物（医薬品）や検査の基礎的事項について理解する。

学習目標

1. 腫瘍、先天異常、損傷について、それらの成り立ちと回復の過程について理解する。
2. ヒトの死について理解する。
3. 薬物（医薬品）や検査の基礎的事項について理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	腫瘍（1）	講義	鈴木 力
2	腫瘍（2）	講義	鈴木 力
3	先天異常	講義	鈴木 力
4	損傷	講義	鈴木 力
5	死（1）	講義	鈴木 力
6	死（2）	講義	鈴木 力
7	医薬品の基礎（1）	講義	鈴木 力
8	医薬品の基礎（2）	講義	鈴木 力
9	重要な医薬品（1）	講義	鈴木 力
10	重要な医薬品（2）	講義	鈴木 力
11	重要な医薬品（3）	講義	鈴木 力
12	重要な医薬品（4）	講義	鈴木 力
13	検査（1）	講義	鈴木 力
14	検査（2）	講義	鈴木 力
15	まとめ	講義	鈴木 力

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	改訂第9版 救急救命士標準テキスト 上巻	救急救命士標準テキスト編集委員会	へるす出版	2015年	9,800円+税	
参考書						
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。					

評価方法

科目試験（100%）

不合格者に対しては、1回再試験を行う。

必要な場合、レポートを課し、その結果も評価対象とする。

履修上の留意点

本科目では、基本的事項を効率よく理解するために、指定の教科書を使用する。

授業前に教科書を熟読しておくこと。授業中は、講義内容を理解し、重要な事項はその場で頭に入るように配慮した講義を行うので、ノートはとらず、メモ程度にして考えるゆとりを作る。授業後の復習も必須である。

オフィスアワー・連絡先

水曜日12時～13時。その他、連絡していただければ、適宜時間を調整します。

E-mail : tsutomu-suzuki@nuhw.ac.jp